

報告第21号

専決処分したものの報告について

市長に委任する専決処分事項の指定について（平成28年12月27日議決）の規定により、下記の事項について別紙のとおり専決処分したから、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第2項の規定により報告する。

平成29年12月1日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

記

1 損害賠償の額を定めることについて

専決第12号

損害賠償の額を定めることについて

損害賠償の額の決定について、市長に委任する専決処分事項の指定について（平成28年12月27日議決）の規定により、下記のとおり専決処分する。

平成29年11月17日専決

豊岡市長 中 貝 宗 治

記

事故区分及び 事故発生年月日	物損事故 平成29年10月22日（日）午後9時30分頃
事故発生場所	兵庫県豊岡市竹野町 [REDACTED] [REDACTED]
相手方の 住所氏名	[REDACTED] [REDACTED]
損害賠償額	金36,115円也
事故の概要	市道消雪ポンプの引込柱の根元の腐食が原因で、引込柱が倒れ、隣接する駐車場の車両を損傷させたもの。 (過失割合 豊岡市10割)

報告第 22 号

株式会社北前館第 26 期の決算及び第 27 期の事業計画に関する書類に
ついて

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定により、別紙の
とおり報告する。

平成 29 年 12 月 1 日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

決算等の状況の報告

株式会社 北 前 館

株式会社北前館第 26 期事業報告

1 事業の概要と成果

第 26 期の上半期は、施設のリニューアル効果を活かすことができず 3 月末時点で経常利益が前年比△5,987 千円と大幅に落ち込みました。大きな要因といたしましてレストランの原価率の改善及び適正なスタッフの配置、新メニュー等の取組みが遅れたことによるものです。これにともない 4 月からは企画・営業業務を外部委託して夏のトップシーズンに向けての早急な準備を行いました。

レストランに関しましては竹野の特産品を使った「誕生の塩ラーメン」を導入し、原価率の改善及び夏期のお客様の回転率の向上を図りました。また、のぼり旗やメニューブックを個別に作成したり、トップシーズンは店頭でカキ氷や、ビール、誕生の塩を使ったフライドポテト等を販売し、レストランの売り上げの後押しを行いました。

温泉につきましては、施設の明確さを表すために「竹野絶景温泉」というコンセプトで、のぼり旗及び懸垂幕の設置、ホームページの一部をリニューアルし、売り上げの向上及びお客様の満足度向上を図りました。例年、問題である施設内の砂の持ち込みに対しては、海水浴のお客様に足洗いの徹底を粘り強くお願いして、持ち込み砂の減少を図りました。

これら取り組みの努力の結果、下半期は黒字化いたしましたが、8 月の台風による海況の悪化が長引き第 26 期全体では黒字化することはできませんでした。

株主の皆様及び市民の皆様には、公共交通のイベントやビアガーデン等たくさんのご協力を頂いたにもかかわらず、年間を通した総売上高は 90,634 千円、前年比 8,886 千円の減となり、経常利益は△2,616 千円、当期純利益は△2,815 千円という結果になりました。

「夏期に収益の大半を依存する体質からの脱出」を図るため、早急なる運営体質の改善、組織の再構築、観光協会をはじめとする地域団体との連携を強化して、経営の安定化に取り組んでまいります。また地域に貢献する第三セクターとして、北前館が竹野に存在する意義を皆様に感じていただけるよう取り組む所存にございますので、引き続きより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。第 26 期の営業報告とさせていただきます。

2 売上状況

(単位：千円)

部 門	レストラン	温 泉	特産品店	業務受託	駐車場	ジオパーク	その他	合 計
売上高	36,240	19,945	11,030	9,047	9,215	3,604	1,553	90,634

3 営業成績及び財産状況の推移

(単位：千円、一株当たり当期利益のみ円)

区 分	第22期 平成25年9月	第23期 平成26年9月	第24期 平成27年9月	第25期 平成28年9月	第26期 平成29年9月
売 上 高	88,368	84,076	98,171	99,520	90,634
経 常 利 益	473	△5,828	1,319	4,178	△2,616
当 期 利 益	265	△6,039	1,111	4,005	△2,815
一株当たり当期利益	530	△12,078	2,222	8,010	△5,631
総 資 産	36,173	34,292	35,477	31,301	23,220
純 資 産	△19,086	△25,125	△24,014	△20,009	△22,824

4 会社概要

- (1) 商 号 株式会社北前館
- (2) 本 店 兵庫県豊岡市竹野町竹野 50 番地の 12
- (3) 成立年月日 平成3年10月7日
- (4) 事 業
- ① レストラン、喫茶店の経営に関する事業
 - ② 温泉浴場施設の管理運営に関する事業
 - ③ 特産品の開発及び加工並びに販売に関する事業
 - ④ 公共施設の維持管理に関する事業
 - ⑤ 駐車場の管理運営に関する事業
 - ⑥ 飲食物、日用品等の販売に関する事業
 - ⑦ 温泉の配湯に関する事業
 - ⑧ 公共的団体の事務局に関する事業
 - ⑨ 山陰海岸ジオパークのガイドに関する事業
 - ⑩ 前各号に付帯又は関連する一切の事業
- (5) 発行株式
- ① 発行済株式の総数 500 株
 - ② 発行価格 1 株当たり 50,000 円
 - ③ 当期末株主数 128 人
- (6) 資本金の額 2,500 万円

5 社 員

(単位：人)

区 分	社 員	パート・アルバイト	合 計
前期末 平成28年9月30日	8	4	12
当期末 平成29年9月30日	6	3	9
増 減	△ 2	△ 1	△ 3

6 取締役及び監査役

役 職 名	氏 名	備 考
代表取締役	石 田 孝 一	
取 締 役	太田垣 健 作	
取 締 役	岩 井 美 晴	
取 締 役	藤 原 誠	
取 締 役	濱 松 淳	
取 締 役	米 田 達 也	
監 査 役	太田垣 征 司	
監 査 役	宮 嶋 俊 夫	

決 算 報 告 書

第 26 期

自 平成 28 年 10 月 1 日

至 平成 29 年 9 月 30 日

株式会社 北前館
兵庫県豊岡市竹野町竹野 50 番地の 12

貸借対照表

株式会社 北前館

平成29年9月30日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
			円
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	(16,488,246)	流動負債	(16,813,692)
現金・預金	13,514,242	買掛金	1,220,874
売掛金	915,473	未払金	5,381,565
棚卸資産	1,875,087	1年以内返済長期借入金	5,899,000
前払費用	161,335	リース未払金	2,421,420
仮払金	30,109	未払法人税等	211,000
貸倒引当金	△8,000	未払消費税等	1,517,900
		預り金	161,933
		固定負債	(29,232,000)
固定資産	(6,732,463)	長期借入金	29,232,000
有形固定資産	(4,686,576)		
建物	1,929,544	負債の部計	46,045,692
構築物	40,731		
工具・器具・備品	294,879	(純資産の部)	
車両運搬具	2	株主資本	(△22,824,983)
リース資産	2,421,420	資本金	25,000,000
無形固定資産	(1,489,658)	利益剰余金	(△47,824,983)
ソフトウェア	1,489,658	利益準備金	800,000
投資その他資産	(556,229)	その他利益剰余金	(△48,624,983)
出資金	13,000	繰越利益剰余金	△48,624,983
長期前払費用	543,229	(うち当期純利益)	(△2,815,508)
		純資産の部計	△22,824,983
資産の部計	23,220,709	負債・純資産の部計	23,220,709

損 益 計 算 書

株式会社 北前館

自 平成 28 年 10 月 1 日
至 平成 29 年 9 月 30 日

科 目	金 額	
【売 上 高】		円 90,634,551
レストラン売上高	36,240,664	
温泉浴場売上高	19,944,730	
特産品店売上高	11,030,148	
受託料	9,047,200	
駐車場整理料	9,214,900	
ジオカヌー利用料	3,604,032	
その他	1,552,877	
【売 上 原 価】		24,932,657
期首棚卸高	1,858,449	
仕入高	24,530,660	
合計	26,389,109	
期末棚卸高	1,456,452	
売 上 総 利 益		65,701,894
【販売費及び一般管理費】		67,130,195
営 業 利 益		△1,428,301
【営 業 外 収 益】		421,912
受取利息	112	
受取配当金	600	
雑収入	421,200	
【営 業 外 費 用】		1,610,119
支払利息	1,609,469	
雑損失	650	
経 常 利 益		△2,616,508
【特 別 利 益】		12,000
貸倒引当金戻入	12,000	
【特 別 損 失】		0
税引前当期純利益		△2,604,508
法人税等充当額		211,000
当 期 純 利 益		△2,815,508

販売費及び一般管理費内訳書

株式会社 北前館

自 平成 28 年 10 月 1 日

至 平成 29 年 9 月 30 日

科 目	金 額	
		円
給 与 手 当	30,166,160	
役 員 報 酬	380,000	
法 定 福 利 費	3,454,884	
福 利 厚 生 費	256,821	
広 告 宣 伝 費	1,422,477	
発 送 配 達 費	81,974	
減 価 償 却 費	1,800,412	
賃 借 料	443,751	
修 繕 費	264,269	
事務用消耗品費	326,346	
通 信 交 通 費	1,450,812	
水 道 光 熱 費	12,707,358	
租 税 公 課	2,998,800	
会 費 負 担 金	426,552	
接 待 交 際 費	360,756	
保 險 料	833,899	
備 品 ・ 消 耗 品 費	2,816,858	
支 払 手 数 料	4,033,913	
車 両 関 係 費	548,700	
リ ー ス 料	342,172	
雑 費	2,013,281	
合 計		67,130,195

棚卸資産の計算内訳

株式会社 北前館

平成 29 年 9 月 30 日現在

科 目	金 額	
		円
商 品	1,456,452	
貯 蔵 品	418,635	
合 計		1,875,087

株主資本等変動計算書

自 平成 28 年 10 月 1 日
至 平成 29 年 9 月 30 日
(単位：円)

株式会社 北前館

	株主資本					株主資本合計	評価・換算 差額等合計	新株予約権	純資産合計
	資本剰余金		利益剰余金		自己株式				
	資本金	資本準備金	資本剰余金 他資本剰余金	利益剰余金 他利益剰余金					
当期首残高	25,000,000			800,000	△45,809,475	△20,009,475		△20,009,475	
当期変動額									
剰余金の内訳科目間の振替									
剰余金の配当									
当期純利益					△2,815,508	△2,815,508		△2,815,508	
当期変動額合計					△2,815,508	△2,815,508		△2,815,508	
当期末残高	25,000,000			800,000	△48,624,983	△22,824,983		△22,824,983	

	利益剰余金の内訳					利益剰余金 合計
	利益準備金	退職給付 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	800,000			△45,809,475	△45,009,475	△45,009,475
当期変動額						
剰余金の内訳科目間の振替						
剰余金の配当						
当期純利益				△2,815,508	△2,815,508	△2,815,508
当期変動額合計				△2,815,508	△2,815,508	△2,815,508
当期末残高	800,000			△48,624,983	△47,824,983	△47,824,983

個別注記表

株式会社 北前館

自 平成 28 年 10 月 1 日
至 平成 29 年 9 月 30 日

- 1 この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。
- 2 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法を採用しています。
 - (2) 固定資産の減価償却方法
 - ① リース資産
定額法を採用しています。
 - ② 有形固定資産
定額法又は旧定額法を採用しています。
なお、一括償却資産については、3年均等償却を採用しています。
 - ③ 無形固定資産
定額法を採用しています。
 - (3) 引当金の計上基準
 - ① 貸倒引当金
債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込み額を計上しています。
 - (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式を採用しています。
- 3 貸借対照表等に関する注記
 - (1) 有形固定資産の減価償却累計額 21,148,749 円
- 4 株主資本等変動計算書に関する注記
 - (1) 発行済株式総数 500 株
- 5 一株当たり情報に関する注記
 - (1) 一株当たり純資産額は、△45,649.96 円です。
 - (2) 一株当たり当期純利益は、△5,631.01 円です。

監査報告書

1. 監査対象期間（第26期）

自 平成28年10月1日
至 平成29年9月30日

2. 監査概要

私たち監査役は、株式会社北前館の第26期の営業年度における経営状況について、平成29年10月25日代表取締役石田孝一より提出された貸借対照表、損益計算書及び収支証拠書類並びにこれらに付帯する関係補助簿について照合精査いたしました。なお、この度の監査において監査場所は株式会社北前館、監査立会人は、代表取締役石田孝一でした。

3. 監査結果

- (1) 会計全般にわたり、関係帳簿と照合精査した結果、会計帳簿の記載金額と一致し財産目録、貸借対照表及び損益計算書は、株式会社北前館の損益の状況を正しく表示していると認めます。
- (2) 取締役の職務遂行に関する不正行為又は、定款に違反する事実はないと認めます。

4. 監査意見書

私たち監査役は、毎月の役員会に出席して取締役の経営検討執行状況及び、日々の従業員の勤務状況も確認してきました。

第26期決算に於いては、2,616千円の経常損失、2,815千円の当期純損失が計上されています。夏期の台風襲来等、収益の期待できる時期に天候に恵まれずお客様が少なかったとはいえ、まだまだ夏期シーズンに依存する形からの脱却はなされず根本的な営業体制の見直しが必要と考えます。安定した経営体制が早期に確立されるよう取締役及び社員全員が一丸となり尚一層の努力をされることを切に望みます。

平成29年10月25日

監査役 太田垣 征 司

監査役 宮 嶋 俊 夫

株式会社 北 前 館

代表取締役 石 田 孝 一 殿

株式会社北前館第 27 期事業計画及び収支計画

1 事業計画

情報の進歩により、近い将来には人間の仕事の約 49%を A I（人工知能）が行う時代の到来に向けて、人間でしかできない細やかな心配りや、サービスの提供できる体制づくりが今期の重要な課題であると考えています。レストラン部門では気軽に立ち寄れる場所として、地元食材を利用した美味しいものを提供する事。具体的には竹野漁協の新鮮な魚介類や山間地域の野菜を使用し、地産にこだわったメニュー作りを考えております。近年注目をあびているアカモクやジンバを使用したメニューなど竹野らしさや季節感あふれるメニューの創作及び原価率の改善を図りたいと考えております。夏場の店頭販売も、バリエーションを増やすなど更なる売り上げの増加を目指します。

温泉部門に関しましては、レストランや売店と絡めた特典などを盛り込み施設全体の流動性を図りたいと思います。また、清掃を徹底し、砂の持ち込み対策も引き続き注力してまいります。

PR面では「竹野絶景温泉」というコンセプトの元に、インターネットやSNS等の露出の強化を図ります。

アクティビティ部門では、ガイド力を高め、竹野は元より城崎温泉、神鍋地域と連携したプランの提案など、営業強化を図ってまいります。海が荒れた時でも川カヌーや焼き板の町並み散策などの代替メニューへの誘導を図り、キャンセル数の減少を図ります。

その他にも、インフォメーションセンター「たけのナビステーションKITAMAE」からの世界ジオパークの発信や「かぜまちミュージアム」を通した北前船文化の伝承など、竹野の豊富な魅力を伝えていく事が当施設の役割と考えております。地域のイベントにも率先して参加し、地元の方は元より企業、各種団体と連携し更なる竹野地域の発展に貢献していく所存でございます。

以上の方針に従い、第 27 期の運営を進めてまいりますので、株主の皆様をはじめ市民の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

予 定 損 益 計 算 書

株式会社 北前館

自 平成 29 年 10 月 1 日
至 平成 30 年 9 月 30 日

科 目	金 額	
(営業損益の部)		千円
【売上高】		100,000
レストラン売上高	40,000	
温泉浴場売上高	22,000	
特産品店売上高	12,000	
受託料	9,000	
駐車場整理料	9,000	
ジオカヌー利用料	7,000	
その他	1,000	
【売上原価】		24,400
期首棚卸高	1,456	
仕入高	24,400	
合計	25,856	
期末棚卸高	1,456	
売上総利益		75,600
【販売費及び一般管理費】		69,539
営業利益		6,061
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		500
受取利息	1	
受取配当金	1	
雑収入	498	
【営業外費用】		1,861
支払利息	1,861	
経常利益		4,700

販売費及び一般管理費内訳書

株式会社 北前館

自 平成 29 年 10 月 1 日

至 平成 30 年 9 月 30 日

科 目	金 額	
		千円
給 与 手 当	28,000	
役 員 報 酬	830	
法 定 福 利 費	3,276	
福 利 厚 生 費	360	
広 告 宣 伝 費	1,500	
発 送 配 達 費	100	
減 価 償 却 費	2,000	
賃 借 料	250	
修 繕 費	505	
事 務 用 消 耗 品 費	500	
通 信 交 通 費	1,500	
水 道 光 熱 費	13,342	
租 税 公 課	3,750	
会 費 負 担 金	426	
接 待 交 際 費	360	
保 險 料	1,033	
備 品 ・ 消 耗 品 費	2,816	
支 払 手 数 料	5,441	
車 両 関 係 費	550	
リ ー ス 料	500	
雑 費	2,500	
合 計		69,539